

こうとう民報

2013年11月号 109

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/



～ 平和のために、いのちのために、
こどもたちのために今考える憲法～

11月5日、『2013 したまち 憲法の集い』（東京東部法律事務所主催）が、テイアラこうとうで開かれました。集いでは、福島原発訴訟原告団長の中島孝氏が、福島原発の現状を報告。続いて弁護士の伊藤真氏、女優の渡辺えりさんが講演。会場を埋め尽くす1200名が参加しました。



量で線引きされ、今後の不安から住民も、家族が一人ひとり分断され、いつ家に帰れるかわからず、希望を見出せない。人間は希望がなければ頑張れない。人の生命よりも企業のもうけを優先させる政治は許せない。裁判を通じて、政治の根本を改める力にしていきたい！と決意を述べました。

冒頭、主催者を代表し加藤芳文東部法律事務所長は、「安倍内閣は平和憲法の改悪の動きを強めている。日本版NSC（国家安全保障会議）と秘密保護法の成立を狙い、外交、軍事機密を漏らした者は、最高で懲役10年に処する」と、とてもない法律を作ろうとしている。国民の知る権利を奪い、言論の自由を奪おうとしている。

この集いを契機に憲法を守るたたかいを準備していきたい」と挨拶しました。「生業を返せ、地域を返せ！」中島孝原告団長は「福島は他の災害と異なり特別の困難がある。突然、放射線



「自民党改憲草案を斬る」平和のために今考える憲法」伊藤真（伊藤塾）

塾長は、「人間は戦争をしてはならない。人を殺してはならない。この一点は何よりもゆずることが出来ない。手段としての戦争は人殺しだからだ」と述べたうえで現行憲法と自民党憲法草案を対比し、草案の持つ問題点を丁寧に解説しました。



「笑顔のために夢を創りたい」渡辺えりさんは「戦争は絶対にダメです。戦争は何の罪もない人たを殺す。だから戦争は絶対にダメなんです！」

そして、自民党の改憲案の狙いを「国防軍の創設と集団的自衛権を容認すること、軍事同盟を強化し、軍事力で国際貢献をする」というもの。これは戦前へ回帰だ」と批判。「現行憲法はすべての国民は個人として尊重される立憲平和主義にたち、国家権力を制限するものです。基本的な人権を守るなどの立憲主義は人類の普遍的な価値であり、自民党の改憲案は、これを否定している」

「私たちは自分で考え、主体的に生きることが必要。危険な動きに、一人ひとり

30歳になった時に初めて父が語った、軍需工場での29の爆撃に生き残ったあの戦争体験。以来、私にとっても無関係でなくなりました。笑顔を見たくてこの仕事をしています。笑顔が好きなのは戦争に反対です」と舞台を縦横に動き軽妙なトークで会場を沸かせました。参加者から「正義の戦争などありえないことを伝えていきたい」「憲法は、現実を理想に近づけるためにあることがよく分かった」などの感想が寄せられました。

発表された5園全部が株式会社立です。利益を生み出し、株式配当を目的とする株式会社立の保育園ではこれまで、経営難によりある

不安が多い

「株式会社」立の保育園

来年4月からの保育園入園申し込みが始まり、父母からは「育休が切れるのに、入園できるかわからない」「働かないと食べていけないの」など、切実な声が寄せられています。昨年認可保育園を希望しながら入園できなかった子どもは1338人、保育園不足は深刻です。

安心して預けられる保育園を

「と、緊急対策を打ち出しましたが、多くの問題があります。父母の願う認可保育園は650人の定員増ですが、

日突然、閉園されたり、保育士が定着せずに「安定した保育」に不安が寄せられ

湾岸サテライト保育とは

200人の子どもをバスで移送

さらに江東区は「新しい江東区型の保育」として「湾岸サテライト保育」を打ち出しました。有明フロンティアビルの3階に、0才～5才まで250人定員の保育園を設置、父母は豊洲駅前設置された分園に子どもを預けることができ、0才～1才児はそのまま豊洲分園で保育、2才～5才

児はマイクロバスで有明本園に移送し保育します。区議団は、バス運行による交通事故のリスクが避けられないこと、父母と保育士との直接のコミュニケーションが取れないこと、園庭も無いオフィス街での保育など問題が多いことを指摘し、サテライト保育は緊急対策として限定的なものとし、父母が通える地域での保育園設置を求めています。

朝騒

日本の秋が壊れていきます。急激な寒気襲来で葉柄が凍り、紅葉もしないで落葉する異変が起きています。夏の参議院選挙で「ねじれ」解消した国会でも「異変」が続いています。高校授業料無償化の廃止、生活保護の改悪、そして日本版NSC（国家安全保障会議）設置などが、矢継ぎ早に強行されてきています。戦争を知っている世代には、4大臣によるNSCは「大本営」を連想させます。日清・日露の戦争司令部として大本営はアジア太平洋戦争まで一世紀をこえて国民を戦争に駆り立ててきました。この体制を維持してきたのは、徹底した監視活動と情報操作（「大本営発表」）でした。一例を挙げます。「本3月10日零時過ぎより2時40分の間、B29約130機、主力を持って帝都に突撃、市街地を盲爆せり、右盲爆により都内各地に火災を生じたるも、宮内省主馬寮は2時35分、其の他は8時頃までに鎮火せり」（読売報知）

2時間40分ほどで10万人余の未曾有の死者をだした東京大空襲の報道でした。国会でのねじれ解消の結果は、安倍政権の国民とのねじれをますます深刻にしています。戦前の暗黒社会への回帰を許さないために、21日の国民大会を契機にして特定機密保護法案を葬り去る国民的共同の発展が期待されます。

「伏見義民と陽岳寺」



「陽岳寺」

概説

江東の歴史

(27)

江戸時代には、数多くの百姓一揆が... 深川2丁目の陽岳寺には京都伏見義民の墓があります。

1780(安永9)年、伏見奉行に任ぜられた小堀和泉守政方は酒色におぼれるようになり、1785(天明5)年には、藩の財政難を伏見町民に負わせようと、一千両の御用金を申しつけました。

町の年寄役文殊九助は他の年寄衆と相談して、丸屋九兵衛と麴屋伝兵衛をつれて幕府に越(直)訴することにしました。3人が江戸についた直後に伝兵衛が病気で倒れ(捕吏に殺されたとの説もある)、九助と九兵衛が伏見からの追手に捕えられようとした時、救ってかくまったのが陽岳寺住職の照道和尚でした。

和尚は2人を厚くもてなし、訴状の書き方まで教えました。2人が駕籠に乗った寺社奉行に訴状を渡せたのは、その年の9月26日。幕府は訴えをとりあげるとともに、九助らを越訴のかどで入牢を申しつけました。

九助は3年後の1788(天明8)年1月3日、九兵衛は同月23日に相ついで判決を待たずに病気で牢死し、照道和尚は2人の遺体を引きとり陽岳寺に葬りました。

同年5月6日にでた幕府の判決は、小堀和泉守と嗣子主水の領地召上、改易で身柄御預、用人や家老には死罪と遠島というものでした。伏見の町には再び明るい春が訪れ、わらべ唄がひろがっていきました。

「もんじゅくすけはかんのんさまで きゅうべえどんはふどうさま」

伏見義民の墓は明治になって町人の募金で建てられ、1913(大正2)年、寺が火災にあうと伏見の学童らは、1人10銭以下の小遣銭をだしあって再建しました。

東京府が史蹟として指定したのは1925(大正14)年。江東区と京都市伏見区は伏見義民をとおして固く結ばれています。



原爆と人間展

江東区原爆被害者の会(江友会)



10月29日から31日まで、江東区文化センターにおいて江東区原爆被害者の会(江友会)主催の「原爆と人間展」が開かれました。

会場では、被爆直後の広島・長崎市内の写真や、絵画、イラストで戦争で米軍が使用した放射能をもった劣化ウラン弾の被害を訴える写真、福島第一原発事故被害を訴える写真などが展示されました。会場を訪れた人たちは、足を止め、ときには涙を流しながら見学する人もいました。

東京音頭で幕を開け、今回初めてゲスト出演した地元各区立元加賀小学校和太鼓クラブが、会場の外まで響き渡る



代からは「戦争に正義はない。人を殺すことは犯罪であり絶対悪です。戦争の悲惨さを次の世代にもきちんと伝えていきたい」(30代男性)「親に

紙の展示も好評でした。

勇壮な太鼓を響かせます。小学生と思えない見事な演奏に会場からは大拍手。地域への一層の広がりを感じました。歌あり、踊りあり、ジャズに三味線などの演芸。記念講演では、江東区総務部危機管理課(生活安全担当)係長による「振り込め詐欺にあわないために」と題した講演と盛りだくさん。

なり初めて広島、長崎の原爆をみました。子どもの写真には涙がでました」(40代女性)などの声が寄せられました。

あぜ上三和子 都議と



あぜ上都議は「質問時間が2倍以上に増え、これまで本会議では代表質問が一人しかできなかったものが三人に。9つある常任委員会に複数の委員が入れるようになった」と都議会での変化を報告。都議団は9月議会でさっそく議案提案権を生かし、認可保育園増設のために都用地を活用し、補助金を創設するなど定めた条例案を提案しました。

10月25日、江東区女性後援会は、都議会見学会を行い19名が参加し、広くなった共産党都議団の執務室、政調会室、総会室を見学しました。

あぜ上都議は「質問時間が2倍以上に増え、これまで本会議では代表質問が一人しかできなかったものが三人に。9つある常任委員会に複数の委員が入れるようになった」と都議会での変化を報告。

行事予定 ○12月4日(水) 19時、総合区民センター・レクホール 江東区社会保険学校。無縁社会とどう向き合うか。講師：板垣淑子 (NHKプロデューサー) 主催：江東区社会保険推進協議会